

日刊建設通信新聞（2015 年 12 月 4 日付 3 面掲載）
【ACK グループ定例会 個の強化など軸に事業拡大】

個の強化など
 軸に事業拡大

ACKグループ定例会

ACKグループは11月30日、第18回グループ定例会を開いた。中期経営計画ACK G2013の強化方針である「個の強化」「連携の強化」「3軸市場の競争力強化」をグループ全社が一丸となって進めるための場と位置付け、グループ各社の重点化プロジェクト



トの取り組みを紹介した。

今回は、「インフラ総点検アプリの開発」「ネパール緊急復興支援事業」「城崎温泉街のそぞろ歩きが楽しめるまちづくり」「横浜駅周辺開発の事業マネジメントの概要」「デザインビルダーにおける品質保証と品質管理の実効性」「台湾での放射性廃棄物処理・処分などの技術協力を通じた市場開拓」の6件のプロジェクトについて、内容と今後の展開を発表し、多くの質疑応答が出席者との間で行われた。写真。

発表に対して、出席した役員によるインターネット投票があり、最優秀賞に「横浜駅周辺開発の事業マネジメントの概要」（鈴木美咲オリエンタルコンサルタンツ事業本部関東支店社会政策部）、優秀賞に「インフラ総点検アプリの開発」（吉田福司リサーチアンドソリューション事業統括本部営業部課長）と「台湾での放射性廃棄物処理・処分などの技術協力を通じた市場開拓」（中野勝志アサノ大成基礎エンジニアリング資源エネルギー事業部事業部長）を選び、表彰した。

野崎秀則社長は「今回の発表を各自の業務に生かし、技術の深化、事業の水平展開に

つなげることが重要だ。今後、個の強化、連携の強化、3軸市場の競争力強化を継続し、事業拡大を図ってほしい」と締めくくった。

定例会は、テレビ会議、インターネットライブ中継で接続した全国20カ所以上の拠点から、グループ各社の役職員が多数出席した。